エコアクション21®
認証番号 0007540

松岡カッター製作所
環境経営レポート
Environmental Management Report
2024

環境経営レポートの対象期間
2022年10月1日～2023年9月30日

環境経営レポート作成日
2024年1月1日

目次 Contents

組織の概要	p.3	トップメッセージ
	p.4	会社概要・経営理念・品質方針
環境経営方針	p.5	環境基本理念・行動理念
実施体制	p.6	経営の推進体制及び権限と役割
環境目標と環境経営計画	p.7	中長期の環境目標
	p.8	環境経営計画の実施・取組結果
	p.9	環境経営計画の取組み結果とその評価
次年度の目標と計画	p.10	次年度の環境経営目標
	p.11	次年度の環境経営計画
	p.12	実施した取組内容及び結果の総合評価
当社の取り組み	p.13	当社の取り組み
環境関連法規	p.16	環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無
代表者による評価	p.17	代表者による全体評価と見直しの結果

編集方針 Editorial policy

発行にあたって

本レポートは松岡カッター製作所の環境、社会に関する活動を広く知っていただくために発行するものです。

編集方針

「2024 環境経営レポート」は、環境と社会面から松岡カッター製作所の現況を報告する年次レポートです。社会的責任を果たすため、当社の環境保全活動および文化交流などの社会貢献活動の現況と成果を、より具体的かつ正確にご報告し、さまざまなステークホルダーの方々とコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。

基本項目

- 対象期間 :2022 年 10 月 1 日～ 2023 年 9 月 30 日
- 対象組織 : 松岡カッター製作所 本社
- 対象活動 : 機械金属加工業（切削工具の製造）

将来見通しについてのご注意

本レポートに記載している当社の計画、戦略、業績予想など、将来見通しに関する内容は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢の変化、市場の動向、関連法規の改正など、さまざまな要因の変化により、実際の業績・事業環境などが、本レポートの記述とは異なる可能性があることをご承知おきください。

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役社長
松岡 慶子

Top Message
トップメッセージ

私たちの考える「環境経営」とは

近年、カーボンニュートラル等企業責任による環境保全の動きが活発となり、弊社にも多方面から製品ならびに製造工程における CO2 排出量、環境負荷物質が入っていないかなど問い合わせが多くなっております。
当社では10年以上のエコアクション活動において、新規使用の材料の環境負荷状況、設備購入における CO2 排出量など全社的に確認する習慣が確立され、ほぼご要望の書類など提出できている状況であるとともに、地球環境に配慮する製品作りを実施しております。

与えられた資源を有効に使いながら、ムダのない製造をすることにより、環境を保護すると共に、コストの削減につながる工夫をこれからも真摯に取り組んでまいります。

Company Profile
会社概要

会社名	株式会社松岡カッター製作所
代表者	松岡 克彦　松岡 慶子
本社所在地	静岡県静岡市葵区古庄2丁目18番46号
設立	1957年11月1日 設立
環境管理責任者	松岡 慶子
事業内容	機械金属加工業（切削工具の製造）
事業規模	資本金: 10,000,000円 従業員数：65名（2024年1月現在）
事業年度	2022年10月から2023年9月

Management Philosophy
経営理念

「 切削工具のパイオニア 」

基本と原則に忠実に、ものづくりとサービスを実践することで、
顧客と社会の「今」と「未来」を創り、
一人ひとりの社員とその家族の幸福を実現し、維持発展させる。

Quality Policy
品質方針

1. 品質の向上に常に取り組む。そのために工程の改善、人材の育成を日々進め、安定した品質と最適なコストを達成するよう努める。
2. 不良品の流出を食い止める。そのために出荷検査体制を強化する。
3. 全ての部署で業務効率を向上させる。そのために常に業務全般の見直しを繰り返す。
4. 納期最優先。どんなに優れた製品も間に合わなければ、すべてただの無用の長物となる。
5. この品質方針を全従業員に周知するとともに、ホームページにて公開し、関係するすべての方々の理解と協力を得られるように努める。

Environmental Basic Philosophy
環境基本理念

当社は、地球環境の保全が、
人類共通の課題であることを認識し、
事業活動の面で環境保全に配慮し、行動します。

Behavioral Guidelines
行動指針

1. 省エネルギー、省資源化の推進により、
   二酸化炭素の排出量、水利用の削減に努めます。
2. リデュース（削減）、リユース（再利用）、
   リサイクル（ごみの再利用）の実践により、廃棄物を抑制します。
3. 希少金属の再利用を目指し、環境に配慮した製品づくりを推進します。
4. 全社員に環境の教育を行い、環境保全の意識を高めます。
5. 環境関連法令を遵守します。
6. 環境経営の継続的な改善を行います。

この環境方針ならびに取り組みは、当社で働くすべてに周知すると共に、社外の求めに応じ公開します。

制定：2009年6月11日
改訂：2020年6月9日（5回目）

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役
松岡 克彦

経営の推進体制 及び 権限と役割

Management Promotion System and Authority and Role

当社は、環境基本方針に則り、行動指針の具現化および実践に関する基本的事項を定め、
下記の組織を設置し、実現に努めています。

経営体制図

代表取締役

①環境経営全般に関する責任と権限
②環境経営に必要な資源の準備
③環境経営システム全体の評価と見直し
④環境管理責任者の任命
⑤課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

①環境経営システム全般の運用・管理
②環境経営目標及び環境経営計画の作成
③取り組み状況の社長への報告
④環境経営レポートの作成

環境委員会委員長

①環境負荷データ等の集計
②環境経営目標・環境経営計画の進行管理
③「環境負荷」および「環境への取組」自己チェックの実施
④環境管理責任者へ取組状況の報告
⑤法規制の遵守状況チェック
⑥文章・記録の管理

製造部 / 営業部 / 総務・設計

部門長（環境委員）

①部門の環境経営計画の実施
②部門データの集計
③部門の問題点把握と是正の実施
④部門取組状況の事務局への報告
⑤部門の従業員教育

その他の従業員

自分の役割を守りエコアクション 21 活動を推進する

中長期の環境目標

Medium- to long-term Environmental Goals

前述の組織において、当社における中長期の環境目標を設置。
第 67 期を基準とし、3 年間の中期予定結果は以下の通りです。

			単位	第 67 期	第 72 期	第 73 期	第 74 期
				2018.10.1 ～ 2019.9.30	2023.10.1 ～ 2024.9.30	2024.10.1 ～ 2025.9.30	2025.10.1 ～ 2026.9.30
				基準	予定実績	予定実績	予定実績
地球温暖化防止	CO2 排出量	CO2 総排出量の削減	kg-CO2	382,923	354,204	344,631	340,802
					92.5%	90%	89%
	電力の CO2 排出量削減	1. 工場設備の見直し。設備増設・更新で 排出量を増加させない工夫をする。	kg-CO2	338,129	284,729	304,316	300,935
					92.5%	90%	89%
	ガソリンの CO2 排出量削減	1. 車両更新の際、ガソリン使用量が少ない車を選択する	kg-CO2	41,375	33,118	37,237	36,823
					92.5%	90%	89%
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	1.999	1.999	1.998
					99.95%	99.925%	99.9%
		産業廃棄物	総排出量 t	50	42.500	40.000	37.500
					85%	80%	75%
	リサイクルの推進	1. 分別を徹底し産業廃棄物の再利用を増やす	再資源化量 / 産業廃棄物排出量%	64%	70%以上	80%以上	85%以上
		2. 段ボール・廃棄用紙の緩衝材リサイクル	緩衝材利用率%	91 %	90% 以上	90% 以上	90% 以上
環境マネージメント	環境事故のゼロ化	1. 油・液体の社外への漏えい、流出の防止	件	1	0	0	0
	環境教育	1. 対応訓練の実施	回	1	1	1	1
節水	水使用量の削減	1. 水の使用状況の確認	㎥	1,285	1100	1000	900
環境配慮の製品	環境対応製品	1. 製品開発準備のための調査	件	0	0	0	0
		2. 社内改善・改良提案を促進する	%	10%	17%	19%	20%
環境汚染防止の推進	環境負荷物質の監視	社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入なし	混入なし	混入なし

※基準年度 (第 67 期) の電力排出係数は中部電力（2018 年）0.457 kg-CO2-kWh を使用

環境経営計画の実施・取組結果

Implementation results of environmental management plan

実施した結果の内容、その評価は下記の通りとなりました。
（実施期間：2022 年10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日）

環境目標に対しての評価・結果

			単位	第 67 期	第 71 期				
				2018.10.1 ～ 2019.9.30	2022.10.1 ～ 2023.9.30				
				基準年	目標	目標値	実績値	実績削減率	評価
地球温暖化防止	CO2 排出量	CO2 総排出量の削減	kg-CO2	382,923	95%	363,777	313,162	86%	○
	電力の CO2 排出量削減	1. 工場設備の見直し。設備増設・更新で 排出量を増加させない工夫をする。	kg-CO2	338,129	97%	321,222	276,005	86%	○
	ガソリンの CO2 排出量削減	1. 車両更新の際、ガソリン使用量が少ない車を選択する	kg-CO2	41,375	97%	39, 306	36,037	92%	○
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	99.95%	1.999	2.97	149%	×
		産業廃棄物	総排出量 t	50	99.93	49.965	26.70	53%	○
	リサイクルの推進	1. 分別を徹底し産業廃棄物の再利用を増やす	再資源化量 / 産業廃棄物排出量%	64%	90% 到達		91 %		○
		2. 段ボール・廃棄用紙の緩衝材リサイクル	緩衝材利用率%	91 %	90%以上		91%		○
環境マネージメント	環境事故のゼロ化	1. 油・液体の社外への漏えい、流出の防止	件	1	0		0		○
	環境教育	1. 対応訓練の実施	回	1	1		1		○
節水	水使用量の削減	1. 水の使用状況の確認	㎥	1,285	930		1,260		×
環境配慮の製品	環境対応製品	1. 製品開発準備のための調査	件	0	0		0		×
		2. 社内改善・改良提案を促進する	%	10	15		19		○
環境汚染防止の推進	環境負荷物質の監視	社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入無し		混入無し		○

※基準年度 (第 67 期) の電力排出係数は中部電力（2018 年）0.457 kg-CO2-kWh を使用

環境経営計画の取組み結果とその評価

		担当者	評価	コメント	次年度の取組
二酸化炭素の削減	1．コンプレッサーの配管の見直し	環境責任者	×	コンプレッサーの配管見直しは予算的に計画的な実施も難しく事業環境とタイミングをみる。スポットクーラーも廃棄・譲渡を継続。工場の LED 化はほぼ設置完了。残りは細々とした必要とされる場所を優先的に変えていく。エアコンの効きに場所ごとで差が出ているので日除けや機械の配置などの工夫を考えていく。	継続
	2．スポットクーラーの廃止	第一工場主任	○		
	3．冷暖房の運転基準の遵守	全社	○		
	4．電源の OFF		○		
	5．フィルターの清掃		○		
	6．水銀灯・蛍光灯の LED 化	環境責任者	○		
	7．タイヤの空気圧チェック	営業	○		
	8．燃費の集計		△		
	9．車両の点検と荷物の適正化		○		
廃棄物の削減	1．廃棄物の分別の意識付け	環境委員会	○	各部署で廃棄物の確認を継続。段々分別ができていないと社内で苦情が出るようになったので周知はできていると感じる。廃棄物のリサイクル率も上がっている。	継続
	2．計画的な産業廃棄物の処理	各担当者	○		
	3．不良品の計測	環境委員会	○		
	4．廃棄物の集計		○		
	5．廃棄物処理費の集計		○		
リサイクルの推進	1．コピー用紙のリサイクル率の集計	総務	○	習慣化ができている。顧客からのクレームもない。廃棄物のリサイクル率も上がっている。	継続
	2．段ボールのリサイクル率の集計		○		
	3．リサイクル金属売却額の見える化		○		
作業環境改善による漏洩・流出の防止	1．内部監査の実施	環境委員会	○	集中的に一か所を内部監査は効果的の実感あり。水溶液の濃度を統一し、水槽の清掃を継続。作業者によって 5S は個人差が出てしまう。漏洩訓練は引き続き行うが、新規で溶剤を扱うことになった時には別途の訓練を増やす可能性が出てきた。	継続
	2．机の上、作業台、機械、作業場の清掃	全社	△		
	3．台車、清掃道具、工具の定位置化		△		
	4．機械の作業前、月次点検の徹底		○		
	5．漏洩物の速やかな除去		○		
	6．通路の確保（ものを置かない）		○		
水使用の削減	1．使用量の見える化	総務	△	漏水の監視。冬季は特に水道管の破裂からの漏水もあるので凍結防止に勤めた。	継続
環境教育	1．目標・計画の周知徹底	環境委員会	○	全社員に対応すべきことが行き渡っています。	継続
	2．緊急対応訓練の実施		○		
環境に配慮した製品作り	1．他社の製品調査	営業	×	環境に対応した製品は、製造ジャンル的に難しい。またエコに関しての改善もコンスタントに出すのは困難なので件数ではなく全体割合に変更。	継続
	2．音の静かな製品設計		×		
	3．改善提案を出す。	全社	△		
化学物質	1．新しく購入する場合 SDS を入手	各担当者	○	意識定着しています。	継続
	2．環境負荷を起こす物質を使わない	全社	○		

中長期の最終環境経営目標

Environmental management goals for the next fiscal year

前述の組織において、当社における中長期の最終環境経営目標を設置。
第 67 期を基準とし、今後の目標を定めています。
（実施期間：2023 年 10 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日）

中長期の最終環境経営目標

			単位	第 67 期	第 74 期
				2018.10.1 ～ 2019.9.30	2025.10.1 ～ 2026.9.30
				基準年	目標
地球温暖化防止	CO2 排出量	CO2 総排出量の削減	kg-CO2	382,923	-11%
	電力の CO2 排出量削減	1. 工場設備の見直し。設備増設・更新で 排出量を増加させない工夫をする。	kg-CO2	338,129	-11%
	ガソリンの CO2 排出量削減	1. 車両更新の際、ガソリン使用量が少ない車を選択する	kg-CO2	41,375	-11%
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	-0.1%
		産業廃棄物	総排出量 t	50	-25%
		1. 分別を徹底し産業廃棄物の再利用を増やす	再資源化量 / 産業廃棄物排出量%	64%	80％以上
		2. 段ボール・廃棄用紙の緩衝材リサイクル	緩衝材利用率%	91 %	90％以上
環境マネージメント	環境事故のゼロ化	1. 油・液体の社外への漏えい、流出の防止	件	1	0
	環境教育	1. 対応訓練の実施	回	1	1
節水	水使用量の削減	1. 水の使用状況の確認	㎥	1,285	900
環境配慮の製品	環境対応製品	1. 製品開発準備のための調査	件	0	1
		2．社内改善提案中、20%環境改善提案を出す。	パーセント	10	20
環境汚染防止の推進	環境負荷物質の監視	社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入無し

※基準年度 (第 67 期) の電力排出係数は中部電力（2018 年）0.457 kg-CO2-kWh を使用

次年度の環境経営計画

Environmental Management Planf or the next fiscal year

当社における中長期の環境経営計画。対象範囲である本社工場にて
具体的に実施していく取り組みを定めたものです。

		スケジュール	担当者
二酸化炭素の削減	1．コンプレッサーの配管の見直し	第１、第２工場	環境責任者
	2．スポットクーラーの廃止	廃棄・譲渡	全社
	3．冷暖房の運転基準の遵守	毎月確認	全社
	4．電源の OFF	常時	
	5．フィルターの清掃	毎月 15 日	
	6．蛍光灯の LED 化	第 1,2 工場､街灯、機械設備	環境責任者
	7．タイヤの空気圧チェック	毎週	営業
	8．車両の点検と荷物の適正化	毎週	
廃棄物の削減	1．廃棄物の分別の意識付け	毎月	環境委員会
	2．計画的な産業廃棄物の処理	各部署での基準	各担当者
	3．廃棄物の集計	その都度	環境委員会
	4．廃棄物処理費の集計	その都度	
リサイクルの推進	1．段ボールのリサイクル率の集計	毎月	各担当者
	2．リサイクル金属売却額の見える化	毎月	
作業環境改善による漏洩・流出の防止	1．内部監査の実施	年２回	環境委員会
	2．机の上、作業台、機械、作業場の清掃	環境活動時間	全社
	3．台車、清掃道具、工具の定位置化		
	4．機械の作業前、月次点検の徹底		
	5．漏洩物の速やかな除去		
	6．通路の確保（ものを置かない）		
水使用の削減	1．使用量の見える化	毎月	総務
環境教育	1．目標・計画の周知徹底	毎月	環境委員会
	2．緊急対応訓練の実施	年１回	
環境に配慮した製品作り	1．他社の製品調査（原材料・機械購入を含む）	展示会	営業
	2．改善提案を出す	年１回	全社
化学物質	1．新しく購入する場合 SDS を入手	その都度	全社
	2．環境負荷を起こす物質を使わない	常時	各担当者
外部対応	1．取引先、公共団体からの環境アンケート等に積極的に協力する。	その都度	環境委員会

実施した取組内容及び結果の総合評価

Comprehensive evaluation of the contents and results of the implemented efforts

二酸化炭素排出量

タップを利用したこまめな消灯等で無駄な電力を削減。全工場にエアコン配置で効率よく空調が可能に。

極寒・猛暑の激しい月以外は削減ができているので集中的に電力を効率よく使用できていると評価。スポットクーラーは廃棄・譲渡待ちが待機しているのでスケジュールを決めて最終廃棄を検討する。エアコンの効きに各所でばらつきが出ているので対応が必要である。

節水

漏水が頻発。都度修繕はしている。
節水は社員に呼びかけ、都度注意喚起。

漏水の疑いがあり、様子見をしていたが使用量が半年で増えていっているので漏水対策の必要性を認識、都度対応。（工場下部の可能性があり、根本的な修繕は難しい）また冬場の水道管凍結に注意喚起を呼びかけている。

廃棄物削減

廃棄物と資源の違いと分別の意識づけを行い、分別のできていないゴミ箱は廃棄する。

意識づけの結果、問題があった際には報告が上がってきており、分別がされている廃棄物の量や種類を確認、見積依頼をとり、経費の削減および徹底分別が実施の継続ができている。社内のリサイクルも継続して行われている。

環境配慮型製品

展示会などで製品開発のための調査を行い、情報共有。
アイディアコンクールにて環境に関する提案を全体の20% 以上出す。

社員が展示会にいった際の報告書で該当があれば情報共有し、検討。
アイディアコンクールでは、環境配慮のアイディアを継続して出すのは難しく、応募数からの割合に変更。

次年度取組にむけて

For next year's efforts

次年度の環境経営目標は変更は以下の通り

顧客要求に対応し、環境目標・環境経営目標における基準年を 2018 年に統一し、地球温暖化への取り組みである Co2 の排出量に関して注視していく。またそれに付随して、最終目標値も顧客要求に合わせて2025年に設定し、今後 3 年間の中長期の活動を設定した。

環境配慮の製品に関して、毎年同じ提案数を環境配慮のみで上げるのが難しいため、時勢に即し、アイディアコンクール内の提案中環境に関するものの割合での再設定。
社内改善提案を 10 件出す→**社内改善提案中 20% の環境改善提案出す**

当社の取り組み

Our efforts

本年度に弊社で実施及び継続した具体的な内容をご紹介します。

電力消費の低減、省エネルギー化への取組み

照明器具の LED 化

女子更衣室、コンピュータ室、食堂、キッチン洗面洗濯所等工場以外や工場の細かな箇所の蛍光灯を LED に変更。明るくなる他、省エネにも貢献しました。

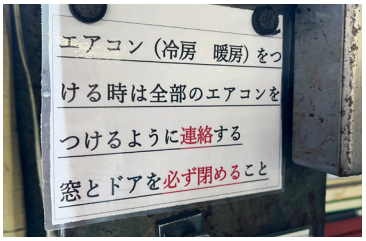
まだ蛍光灯の箇所を徐々に変更しています。

光が入らない箇所でも明るく照らしてくれます。

こまめな消灯の呼びかけ

2022 年 11 月頃～電気代の高騰を受けてより強く節電を呼びかけました。
各所に札で注意喚起し、委員会や朝礼などでの呼びかけを実施ました。

使わない場所のこまめな消灯。

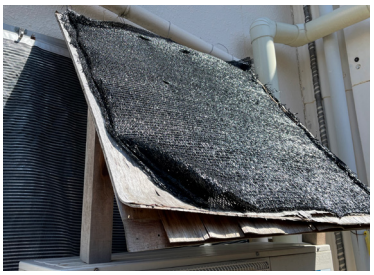


エアコンを使用する時の呼びかけなども実施しています

第 1 工場に日除けを増設、継続

第 1 工場の南側面は夏場は日光が差し込み、温度が高くなりやすく、冷房の効きも悪くなってしまうので、日除けを設置し、温度上昇を緩和。エアコンの効きにも効果を発揮しました。

使われていないときは畳んでしまわれている。



直射日光を遮断し、室内へ籠る熱を軽減。

毎月のエアコン等のフィルター掃除

毎月 15 日は 5S の日と定め、全社でエアコンのフィルターの掃除をし、その際に異常などの点検も行っています。常に点検・清掃を行うことで効率的なエアコンの稼働がされています。

環境教育の取組み

駐車場の草取り 2022年11月7日・2023年6月5日 実施

会社駐車場の草取りを朝礼後全員で実施。夏は日が出て暑くなる前に短時間で効率よく行い、社員やお客様が使いやすいキレイな駐車場になるように清掃しました。また排水路の周りも草や苔、異常がないかの確認もしています。

内部監査で5Sの徹底

内部監査では、半年に1回、違う部署の社員が作業場を訪問し、整理整頓や見える化がされているか等、5Sがきちんと行われているかチェックします。指摘箇所を重点的に対処し、作業効率のよい仕事場を目指します。

左画像が改善前、右画像が改善後。第1工場内、コンタマシンの横に使用済みのフィルターなどが置きっぱなしだったが整理して作業をしやすく安全にしました。

5Sとは

整理	不要なものを捨てること
整頓	使いやすく並べて表示をすること
清掃	きれいに掃除をしながら、あわせて点検すること
清潔	きれいな状態を維持すること
しつけ	きれいに使うように習慣づけること

アイディアコンクール

毎年弊社で行っているアイディアコンクールに今年は環境対策に関しての応募を呼びかけ、社員から多数の応募がありました。
その中でも「エコアクション賞」とし、環境対策へのグッドアイディアに対して通常の優秀賞とは別で授与します。応募されたアイディアは共有し、実際に運用をしたり、次年度以降の実施計画表の参考にしています。

平成２９年度
第３５回　創業・工夫・提案・発表用紙

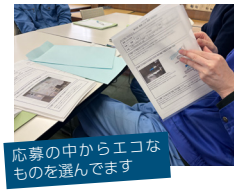
提出日期限：平成３０年３月１５日

創業・工夫の名称							
所属		氏名		採点			

■創業・工夫・提案などの内容および方法、形状（略図、写真などの実際の図案）

■この創業・工夫・提案の良い点、悪い点について

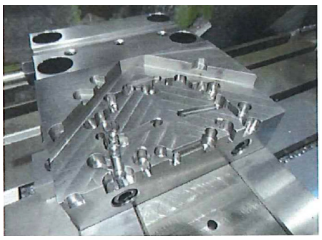
アイディアコンクールは、創業記念日に受賞を発表。誰でも参加でき、特に優秀なアイディアは内容に応じて表彰される。



応募の中からエコなものを選んでます

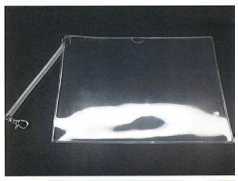
例えばこんな案が！

治具改良で清掃時短



治具をエアーで清掃する際に、切屑が飛んだり治具内に入ってしまっていたのを治具の穴を加工することで切削液が流れやすくなり、切屑も滞留せず、飛び散らず清掃も楽になった。

外注への注文書入れの改良



外注の企業への注文書を入れる際に汚れ防止で毎回ビニール袋に入れていたのを環境保全の観点から、クリアファイルにインポートパーツキーをつけて、そこに入れることで毎回ビニールを出さなくても良いようにした。
節約・エコの観点からも評価された。

環境配慮への取組み

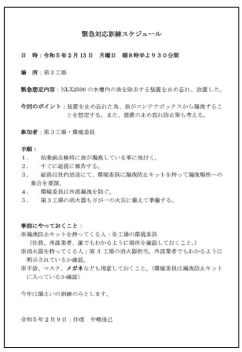
切削液の濃度・状態の定期点検

切削液を変更したことで適切な濃度の点検と状態の確認を定期的に行っています。
点検した結果は毎月点検表に記入し、異変があったら対応できるようにしています。

濃度計を用いて適切な濃度になっている確認。また、カビや異臭のチェックも。

緊急対応訓練 2023年2月13日実施

年に一度、弊社で使用している廃液が漏洩した場合を想定した緊急対応の訓練を行っています。
今回は第三工場の NLX2500 の水槽内の油を除去する装置を止め忘れ、放置したというを想定での手順などを確認しました。
※訓練中では水を溢して訓練しています。



緊急対応訓練スケジュール

日　時：令和５年２月１３日　月曜日　朝８時半より３０分間

場　所：第３工場

緊急想定内容：NLX2500 の水槽内の油を除去する装置を止め忘れ、放置した。

今回のポイント：装置を止め忘れた為、油がコンテナボックスから漏洩すること を想定する。また、装置のための忘れ防止策も考える。

参加者：第３工場・環境委員

手順：
1.　装置前点検時に油が漏洩している事に気付く。
2.　すぐに近隣に報告する。
3.　総務は社内放送にて、環境委員に漏洩防止キットを持って漏洩現所への集合を要請。
4.　環境委員は外部漏洩を防ぐ。
5.　第３工場の消火器も万が一の火災に備えて準備する。

事前にやっておくこと：
※漏洩防止キットを持ってくる人：各工場の環境委員
（伝票、外注業者、運ぶもがかるように場所を確認しておくこと。）
※消火器を持ってくる人：第３工場の消火器担当。外注業者でもわかるように明示されているか確認。
※手袋、マスク、メガネなども用意しておくこと。（環境委員は漏洩防止キットに入っているか確認）

今年は漏えいの訓練のみとします。

令和５年２月９日：作成　中嶋後記

ゴミ分別の細分化、リサイクル買取の利用

社内ででた廃棄物に関して、社内のルールで細かく分別をすることで分別の認識が行き渡り、リサイクル買取での買取額もアップしました。また、産業廃棄物で捨てていたものも、分解・分別で引き取りが可能になることもあり、分別を徹底しています。

■来期に向けての実施計画一例

冷暖房の効きの安定化
温度の上昇や下降が激しい箇所の原因を探り対応する。

水道管の漏水箇所の特定、修繕
漏水している箇所を特定して、修繕し、漏水を食い止める。また根本的な原因があれば対処する。

環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無

Confirmation of compliance with environment-related laws and regulations, evaluation results, violations, proceedings, etc.

環境関連法規等の遵守状況

同事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果は以下の通りです。
環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反などの指摘は、過去３年間ありません。
環境に関する外部からの苦情、訴訟等もございませんでした。

評価者：環境管理責任者　松岡慶子

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	順守状況	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律廃棄物の削減	廃棄物処理業者との委託契約作成	契約書の締結	2023/9/30	○
	産廃保管場所の掲示板設置	60㎝× 60㎝掲示板	2023/9/30	○
	マニフェストの管理	B、D 票、E 票の返却	2023/9/30	○
	マニフェストの返却期間	90 日以内または 180 日以内	2023/9/30	○
	マニフェストの保管	5 年間	2023/9/30	○
	マニフェストの年間交付状況報告 (2020 年より電子申請)	3 月末の 1 年実績を 6 月末までに静岡市へ報告	2023/9/30	○
消防法	第２１条の４火災報知機の設置	2021 年 6 月点検　実施	2023/9/30	○
	第２１条の４屋内消火栓の設置			○
	第３１条の４消防用設備の等点検と報告			○
グリーン購入	環境物品の購入（できる限り）	事業者の一般責務	2023/9/30	○
自動車リサイクル法	取引業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	2023/9/30	○
騒音規制法	第５条　特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守	空気圧縮および送風機 2 台	2023/9/30	○
	第６条の１　特定施設の届出			
振動規制法	第５条　特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守	空気圧縮機 15kw　2 台	2023/9/30	○
	第６条の１　特定施設の届出			
フロン類の使用の合理化及び適正化に関する法律	簡易点検 : 四半期に 1 回以上、 定期点検 :7.5 Ｋｗ以上 50 Ｋｗ未満は 3 年に1回以上、50Kw 以上は1年に1回以上	該当のエアコン 12 台 スポットクーラー 7 台	2023/9/30	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法	第 2 条上　ポリ塩化ビフェニル廃棄物 処理状況報告	低濃度 PCB 廃棄物処理	2023/9/30	○
労働安全衛生法	第 2 の 6 号作業環境測定の実施	グラインダー作業場	2023/9/30	○
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第 10 条委託業者の処分状況確認	HP にて確認	2023/9/30	○
	第 17 条処理状況報告	6 月末まで提出	2023/9/30	○
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	第 4 条　事業系一般廃棄物処理	静岡市の指定袋購入廃棄	2023/9/30	○

代表者による全体評価と見直し・指示

Overall evaluation and review / instruction by the representative

2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までの取組について、環境経営方針、環境経営目標および環境経営計画、実施体制を含めた実施状況などについて評価をおこないました。

1．環境経営方針について

国内外でのカーボンニュートラルの取り組みで取引先、業界からの情報は多いが情報収集、対応等も環境経営方針に含まれるため大きな変更は必要なしとする。

2．環境経営目標および環境経営計画、実施体制および実施状況について

自動車関係の業界から具体的な目標を示された為、
その目標に合わせることとし、基準年を 2018 年とする。
2030 年までの長期目標ではあるが、国・業界として、目標をクリアにしていきたい。

3．環境経営システムの各要素について

社内における要素の変更はなし。
フロン、化学物質等、法律と共に安全シートの確認などにて
安全、安心な工場を維持していく。

令和５年１月１日

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役社長　松岡慶子

切削工具の専門メーカー

株式会社 松岡カッター製作所

https://matsuoka-cutter.jp